



再エネって
良いイメージが
あるけど…
重森華子さん

私が
分かりやすく
教えます!

原子力って
本当に安全なの?
藤尾直子さん

教えてくれたのは

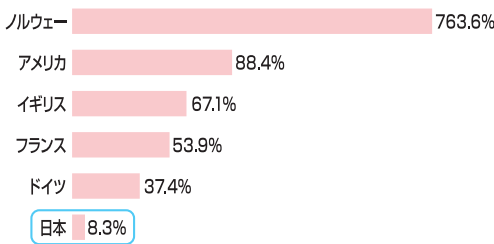
野村 浩二さん

慶應義塾大学 産業研究所 教授
政府の総合資源エネルギー調査会の小委員会
委員を歴任するなど、国内外で幅広く活躍中。
専門はエネルギー経済、計量経済学

Q1 日本にある エネルギー資源はどのくらい?

エネルギー自給率は
食料自給率より低い約8%
資源の多くを海外からの輸入に依存

表1 主要国の一次エネルギー自給率 (2016年)



出典：IEA「World energy balances (2018edition)」を基に作成

野村 昨年の夏は地震や台風などの自然災害が数多く発生しました。テレビや新聞で停電などのニュースをご覧になった方もいらっしゃると思いますが、今や電力というエネルギーは、私たちの暮らしに必要不可欠な資源の約9割を、海外から輸入しなければならぬ状況に陥っています。私たちが暮らす日本は、エネルギー資源が乏しい国で、2016年の日本のエネルギー自給率はわずか約8%しかありません(表1参照)。日本の食料自給率も約9割程度です。エネルギー資源が乏しい日本は、安定的にエネルギーを供給するためには、自給率を高めていく取り組みが不可欠です。重森 日本はエネルギー自給率がとても低いので、私たちが暮らす日本は、安定的にエネルギーを供給するためには、自給率を高めていく取り組みが不可欠です。重森 日本はエネルギー自給率がとても低いので、私たちが暮らす日本は、安定的にエネルギーを供給するためには、自給率を高めていく取り組みが不可欠です。

私たちの暮らしとの関係って?日本のエネルギーのキーワードは

“エネルギーミックス”



私たちの暮らしに欠かせないエネルギー。エネルギーについて考えることは、私たちの日々の生活や日本の経済を考えることにもつながります。そこで、現在の電力事情や私たちの暮らしとの関係について、読者が慶應義塾大学産業研究所教授の野村浩二さんに聞きました。

Q2 再生可能エネルギーが注目されているけれど…?

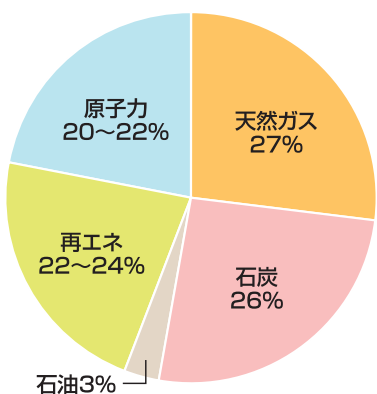
実は、多くの課題もある

野村 先ほど自然災害の話を出しましたが、最近はやearsに「異常気象」という言葉がよく耳にするようになりましたね。気候変動をもたらす原因と言われている地球温暖化を防ぐことは、世界的な課題にもなっていますが、日本ではどうでしょうか。東日本大震災以降、発電時にCO2を出さない原子力発電への依存が高まっている日本では、発電コストの面で、再生可能エネルギーは、再生可能エネルギー促進課金(再エネ賦課金)を課せられています。野村 国の制度に基づきたいと思っています。

Q3 未来のために、どうしたらいい?

火力、再エネ、原子力を組み合わせる
“エネルギーミックス”という
考え方が大切

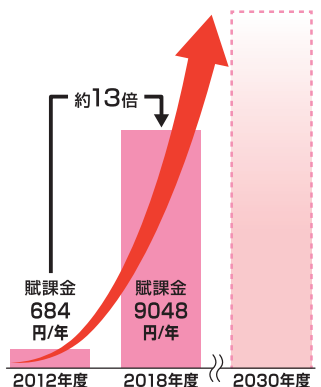
表3 国が目指す、2030年度の
バランスのとれた電源構成



出典：経済産業省資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通し」を基に作成

野村 資源の乏しい日本、原子力を20~22%程度にとり、これからのエネルギーの未来を考える上で重要なのが、「エネルギーミックス」という考え方です。これは、発電方法を分散することで、電力の供給やコストの安定化など、安全性が確保された発電所を目指すというものです。野村 日本は現在、世界でも厳しいと言われる新しい規制基準のもと、安全な原子力発電を推進しています。野村 原子力は少し怖いイメージがありますが、それぞれの長所を生かして短所を補いあいながら、バランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」が大切なのです。野村 原子力は少し怖いイメージがありますが、それぞれの長所を生かして短所を補いあいながら、バランスよく組み合わせる「エネルギーミックス」が大切なのです。

表2 家庭における
再エネ賦課金の推移



出典：経済産業省資源エネルギー庁「エネルギー白書2018」を基に作成

思い込みではなく
正しい情報を
知ることが
大切です

エネルギーも
バランスが重要なんです。家族でも話したいです

問い合わせ
サンケイリビング新聞社
「ミセスのNews勉強室」
パブリシティ事務局
0120-000-496 ※10:00~17:00
(12:00~13:00と土・日曜、祝日除く)